

2025/6/1 版

レボグリッパ強度計算プログラム Ver.2.2
操作マニュアル
【 ガイダンス編 】



エヌパット株式会社

改訂版履歴

版数	改訂日	改訂履歴
第1版	2024/5/23	初版
第2版	2024/9/25	機能毎にマニュアルを分別
第3版	2025/5/10	メニュー項目追加改訂

1. はじめに

本マニュアルは、エヌパット株式会社が販売する“あと施工鉄骨接合『レボグリップ』”の強度計算プログラムマニュアルのガイダンスとなります。

レボグリップ計算マニュアルは以下 3 部の構成で分けておりますので、操作方法に応じて対応するマニュアルをご参照ください。

- 『レボグリップと架台の簡易強度計算』 ＊別紙
- 『レボグリップ単体の強度計算』 ＊別紙
- 『レボグリップと架台の詳細強度計算』 ＊別紙

2. 計算プログラムの選定

マニュアルは 3 部の構成に分けておりますが、動作するプログラムは 1 つです。

プログラムを起動すると先頭画面で以下の選定項目が表示されますので、何れかの操作方法を選定頂き、計算方法に応じた操作マニュアルをご参照ください。

どの計算を行うか選択してください

- レボグリップと架台の簡易強度計算
- レボグリップ単体の計算
- レボグリップと架台の詳細強度計算

使用するレボグリップを選択してください

- レボグリップ屋内用
- レボグリップ高強度
- レボグリップ屋外用

入力値をクリア

※ レボグリップと架台の簡易強度計算

H 鋼下フランジにレボグリップで門形架台を設置する際の簡易計算プログラムです。門形架台の簡易強度計算では、架台の段数を 1 台に限定した計算を行います。設置元の H 鋼部材と門形架台の構成部材、および架台に設置する設備機器の総重量からレボグリップに掛かる強度を計算します。

- 架台は梁の下フランジにセットする門形形状とします
 - L 形などの一本吊り架台の場合は、『レボグリップ単体の計算』を利用します
 - 門形架台の設備設置段数は 1 段に限定しております
 - 門形架台の設備設置段数を複数段でご利用する場合は、『レボグリップと架台の詳細強度計算』をご利用ください。3 段までの計算を行う事ができます。
 - 門形架台に設置できる設備機器の種類は以下となります
 - ✓ 配管 1 段につき 1 本～4 本
 - ✓ ダクト 1 段につき 1 台
 - ✓ ケーブルラック 1 段につき 1 台
- ❗ 門形以外の架台 (L 形などの 1 本吊り) を設置する場合は、架台重量が多少大きくなりますが、この計算書を代用してください。

※ レボグリップ単体の計算

レボグリップ単体の基本強度の計算プログラムです。

- 設置元の H 鋼部材とレボグリップで取り付ける吊元金具との組み合わせの強度計算を行います。
- この計算では架台の重量計算は行われません。

※ レボグリップと架台の詳細強度計算

H 鋼に設置する門形架台複数段利用時の強度計算を行ったうえで、レボグリップに掛かる強度を計算します。

- 門形架台の部材単体構成での強度計算を行います。
- 架台計算で NG が表示された場合は、OK になるまで部材サイズを変更して再計算を行ってください。
- 架台強度の計算結果とレボグリップ単体の強度計算は個別の計算となるため、両方 OK になるように入力設定を調整してください。

以上